

加茂市中小企業景況調査報告(平成24年10月～12月期)

悪化傾向にあったDI平均値は、前期(7～9月期)の14.8ポイントからさらに27.8ポイント悪化し、42.6ポイントと、大幅に悪化する結果となった。全業種が需要の停滞を当面する問題点として1位にあげており、来期の見通しについても先行き不透明なままである。

業種 項目		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
		10～12月	1～3月	10～12月	1～3月	10～12月	1～3月	10～12月	1～3月	10～12月	1～3月
		今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し
売上高		33 (9)	46 (28)	37 (13)	30 (2)	35 (11)	55 (0)	55 (33)	45 (33)	48 (5)	48 (9)
採算		30 (9)	31 (50)	28 (0)	27 (17)	27 (11)	55 (11)	51 (46)	45 (44)	47 (15)	47 (13)
資金繰り		25 (9)	33 (27)	21 (0)	27 (19)	9 (0)	22 (0)	33 (42)	37 (39)	28 (20)	35 (14)
業況		38 (0)	38 (36)	28 (5)	29 (12)	35 (22)	55 (12)	54 (33)	38 (35)	58 (15)	47 (21)
経営上の 当面する 問題点	1位	民間需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞	
	2位	請負単価の低下		製品(加工)単価の低下		販売単価の低下		購買力の他地域への流出		新規参入企業の増加	
	3位	官公需要の停滞		製品ニーズの変化への対応		店舗・倉庫の狭隘・老朽化		消費者ニーズの変化への対応		利用料金の低下	
業種別 コメント		<p>民間需要が停滞し、全項目でDI値が大幅な悪化となった。今後も請負単価の低下などを要因に採算面で厳しい経営が続くと予想される。</p> <p>また、来期は本格的な冬場を迎えるために業界全体で仕事量の減少が予想されるため、春先の受注確保が課題である。</p>		<p>輸出関連製品の不振などにより需要が停滞し、売上高DI値で50ポイントの大幅な悪化となった。</p> <p>来期も全項目でDI値は悪化しており依然として厳しい状況が続くと思われる。</p> <p>自社にある経営資源を見直し、積極的な営業活動により、今後も国内に残るであろう高付加価値な仕事を獲得することが今後の課題である。</p>		<p>関連業種の業況悪化の影響を受け、全項目で悪化。特に売上高DI値が大幅な悪化となった。</p> <p>春先から若干回復傾向にあったが来期は売上、採算面で悪化が予想される。</p> <p>今後は消費者ニーズを捉えた品揃えと販売データを活用した売れ筋商品の提案などコンサルタント型の営業が必要である。</p>		<p>猛暑から一転した急な冷え込みにより秋物商品の購買が進まず、全体として業況は悪化傾向にある。</p> <p>年末商戦でも消費マインドは上がらず、需要の停滞や購買力の他地域への流出など問題点が多い。</p> <p>今後は品揃え、価格競争ではなく個人店ならではの専門性と気配りで大型店との差別化を徹底的に行っていく必要がある。</p>		<p>忘年会シーズンやクリスマスを迎え、一時的な回復が期待されたが、消費が伸び悩み、全項目でDI値が悪化した。</p> <p>来期もお正月、新年会、年度末の歓送迎会と消費マインドを押し上げるイベントがたくさんあるが、各店においてイベントを活かす仕組み作りが必要である。</p>	



とくに好調
(50 DI)

好調
(25 DI<50)

まあまあ
(0 DI<25)

不振
(25 DI<0)

きわめて不振
(DI<25)

当所では分析にあたってD・I(好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値)を採用しました。

()は前回調査時のD・I値